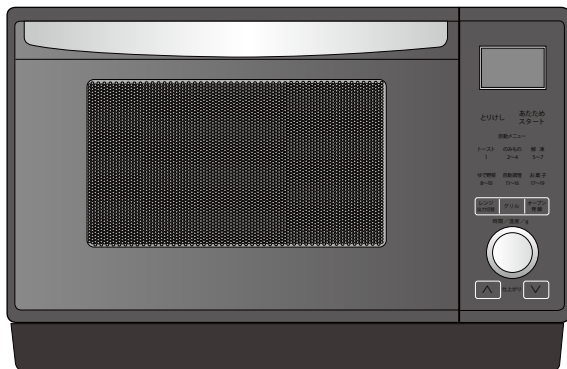




オーブンレンジ YRE-F250V



家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは弊社オーブンレンジをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は大切に保管してください。

取扱説明書

もくじ

- 安全上のご注意..... ①～⑤
- 設置.....⑥
- 各部の名称・準備..... ⑦～⑧
- いろいろな機能..... ⑨～⑩
- から焼.....⑪
- 使える容器.....⑫
- 食品ををあたためる.....⑬
- 自動メニュー.....⑭～⑰

- ・トースト
- ・のみもの(牛乳、コーヒー、酒)
- ・解凍(冷凍あため、全解凍、半解凍)
- ・ゆで野菜(葉菜、果花菜、根菜)
- ・自動調理(弁当、ハンバーグ、肉じゃが、グラタン、冷凍ピザ、フライ)
- ・お菓子(クッキー、スポンジケーキ、シュークリーム)

- レンジを上手に使うポイント.....⑳～㉘
- 手動調理 レンジを使う.....㉙
- 手動調理 グリルを使う.....㉚
- 手動調理 オープンを使う(予熱あり).....㉛
- 手動調理 オープンを使う(予熱なし・発酵).....㉜
- 加熱のしくみ.....㉝
- お手入れ.....㉞
- 故障かなと思ったら.....㉟～㊱
- 仕様.....㊲
- アフターサービスについて.....㊳

安全上のご注意 必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

すき間からピンや針金など、異物を入れない

高圧部があり、感電や異常動作して、けがの原因になります。



禁止

不安定な場所、燃えやすいものの近くや、本体周囲に熱がこもる環境で使わない

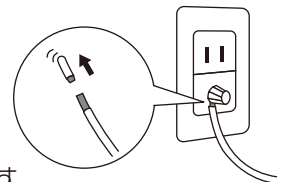


新聞紙など本体の給排気口をふさぐようなものの上や、じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上では使わないでください。火災ややけどの原因になります。



必ず守る

設置の際は、アース線を確実に取り付ける



故障や漏電のときに感電する原因になります。

※アース取り付けはP6を参照してください。



禁止

吸気口や排気口をふさいだり、布やカバーをかけて使用しない

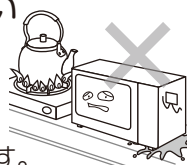


故障の原因になります。



禁止

水のかかる所や湿気の多い所、また火気の近くでは使用しない



感電や漏電の原因になります。



必ず守る

使用前に梱包材や保護テープは全て取り除く

変形・発火・火災の原因になります。また、取り除いた梱包材は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。ポリ袋や箱に入り窒息する原因になります。

警告

■電源プラグ・電源コードなどは



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



ほこりをとる

電源プラグの刃、刃の取付面やコンセントにほこりが付いているときは乾いた布で拭き取る

火災の原因になります。



禁止

電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



交流100V
15A以上

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

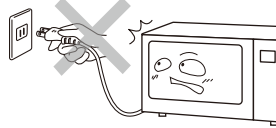
交流100V以外で使ったり、コンセントを他器具と併用すると火災・感電の原因になります。



禁止

使用中に電源プラグを抜き差ししない

火災や感電、故障の原因になります。



根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

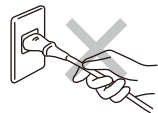
感電やけがの原因になります。



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

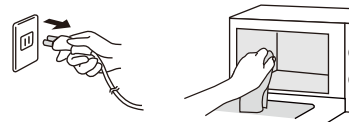
感電やショートして発火する原因になります。



プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて本体が冷めてから行う

感電やけがをすることがあります。



プラグを抜く

異常時（コゲくさいにおいなど）は運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。



プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

ほこりがたまり発煙、発火の原因になります。

⚠ 警告

■加熱時の破裂を防ぐために

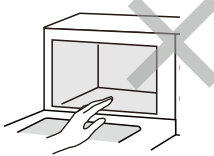

❗ 次のものはレンジ加熱しない

必ず守る

<p>膜や殻のあるもの</p>  <p>殻が割れてけが、やけどの原因になります。切れ目や割れ目をいれてください。</p>	<p>蓋のある容器</p>  <p>破裂してけが、やけどの原因になります。蓋を外してください。</p>	<p>生卵やゆで卵</p>  <p>破裂してけが、やけどの原因になります。ほぐしてから加熱してください。</p>
<p>瓶や缶詰</p>  <p>容器が割れてけが、やけどの原因になります。耐熱容器に入れ替えてください。</p>	<p>アルミ箔、金属製食器、金箔等の装飾食器</p>  <p>火花が出て発煙、発火の原因になります。</p>	<p>袋入りの食品</p>  <p>脱酸素剤</p> <p>破裂してけが、やけどの原因になります。袋から取り出して加熱してください。また、脱酸素剤などは、必ず取り出してください。発煙・発火するおそれがあります。</p>

⚠ 注意

■オーブン・グリル加熱のとき

<p>❌ 加熱中や加熱後しばらくは高温のため庫内や本体には触れない (ドアのハンドルや操作部は除く)</p> <p>禁止</p>  <p>やけどの原因になります。</p>	<p>❗ 食品の出し入れはミトンを使う</p> <p>必ず守る</p>  <p>やけどの原因になります。また、破れたり濡れたミトンは使わないでください。</p>
<p>❌ 調理後の角皿は、本体の上や熱に弱いものの上に置かない</p> <p>禁止</p> <p>こげたり、変形する原因になります。</p>	<p>❗ お手入れは、本体や庫内が冷めてから行う</p> <p>必ず守る</p> <p>やけどの原因になります。</p>

⚠ 注意



必ず守る

レンジ加熱したラップを外すときは、ゆっくり外す

蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。



禁止

食品や飲料を加熱しすぎない

食品が発煙・発火したり、飲料は突然沸騰してやけどの原因になります。少量の加熱時や油脂の多い食品・液体、イモなどの根菜類の加熱には注意してください。



禁止

おしぼりやタオルの温めや衣類の乾燥など調理目的以外の使用はしない

過熱や異常動作による発火、やけどの原因になります。



必ず守る

庫内に付着した油や食品カス等はこまめに掃除する

火花が飛び、発火や発煙の原因になります。食品カス等がたまると発火の原因になります。



禁止

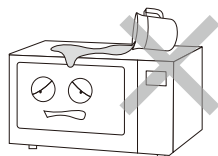
本体が転倒、落下したときは外部に損傷がなくても使用しない

感電や電磁波漏れの恐れがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

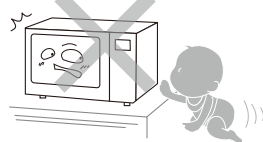


ショート・感電の原因になります。



禁止

子供だけで使ったり、幼児の手の届く所で使わない

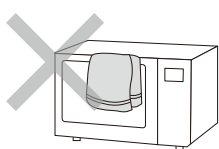


感電やけが、やけどの原因になります。



禁止

ドアにぶらさがったりして無理な力をかけたり、物をはさんだまま使用しない

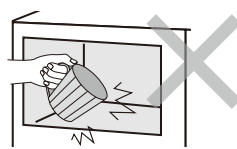


電磁波漏れによる障害が起きることがあります。



禁止

加熱台に衝撃を加えたり、熱い状態で水をかけたりしない



破損の原因になります。



禁止

本体の上に物を置かない

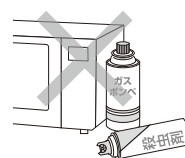


熱で焦げたり変形する恐れがあります。



禁止

可燃性スプレーを使ったり、燃えやすいものを近くに置かない



引火してやけどや火災の原因になります。

⚠ 注意



庫内为空(食品なし)のまま作動させない

異常高温になり、やけどや発火、故障の原因になります。(オーブン機能での空焼きを除く)



食品が燃え出したときは、ドアを開けない

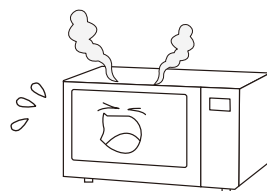
酸素が入り、勢いよく燃えます。

【次の処置をしてください】

1. ドアをしめたまま、「とりけし」ボタンを押す。
2. 電源プラグを抜く。
3. 燃えやすいものを本体から遠ざけ、鎮火するのを待つ。

■鎮火しない場合は、水や消火器で消火してください。

■そのまま使用せずに、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



調理のときのお願ひ

■自動加熱のとき

- 少量の食品のときは自動で加熱しない
少量の加熱は手動で様子を見ながら行ってください。
- 加熱が足りないときは、手動加熱を使う
自動加熱を使うと、もう1度始めから加熱することになり、食品がこげたり、発火することがあります。
- 繰り返し、加熱するときは仕上がりキーを使い、様子を見ながら加熱する
庫内が熱い場合は、うまく仕上がらないことがあります。
- 記載の材料・分量を守る
材料や分量を変えるときは、手動加熱で様子を見ながら加熱してください。

■レンジ加熱のとき

- 付属の角皿や金属類は、絶対に使用しない
火花が出て、機器を傷めたり破損することがあります。
- 根菜などの少量加熱は、必ず浸るぐらいの水を入れる
少量(100g以下)の加熱は、火花の発生や食品がこげたりして、故障の原因になります。
- オーブン・グリル加熱後はドアを開けて、庫内を十分冷やす
庫内の熱で加熱しすぎたり、ラップなどが溶けることがあります。
- 庫内为空のまま加熱しない
庫内が異常高温になり、故障ややけどの原因になります。

■オーブン・グリル加熱のとき

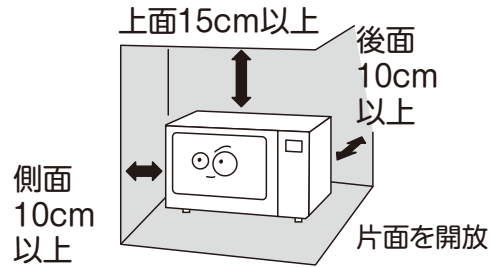
- ラップやプラスチック容器を使わない
溶けたり、発火するため使えません。
- できあがったら、すぐに庫内から取り出す
余熱で焼きすぎることになります。
- ドアの開閉はすばやく行い、回数を少なくする
庫内の温度が下がり、うまく仕上がらない原因になります。

■すべての加熱について

- 換気をしながら調理する
煙が多く出る場合があります。
- 容器など、それぞれの加熱にあつたものを使う(P12参照)

設置

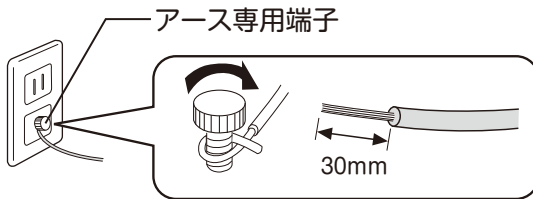
- 壁や家具などの可燃物から図のように距離を離してご使用ください。
- 窓ガラスがある場合は、排気口から20cm以上離してください。
(温度差によって割れる場合があります。)
- 図のようなすき間があっても周りを密閉した状態にしないでください。
- テレビ・ラジオ・アンテナ線から3m以上離してください。
映像が乱れたり雑音が入る恐れがあります。



アースの取り付け

アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

【アース付きコンセントがある場合】



アース線先端の剥きしろを約30mmに切断して、アース端子に確実に固定してください。

【アース付きコンセントがない場合】

販売店または電気工事店に、ご相談いただきアース工事(D種接地工事)をしてください。

■アース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)が必要な場所

- 湿気の多い場所
土間、コンクリート床、酒やしょうゆなどの醸造・貯蔵所
- 水気のある場所(アースの他に漏電遮断機の設置も必要)
洗い場など水を扱う場所、水滴の飛び散る場所、地下室など結露の置きやすい場所

■アース線を接続できないもの

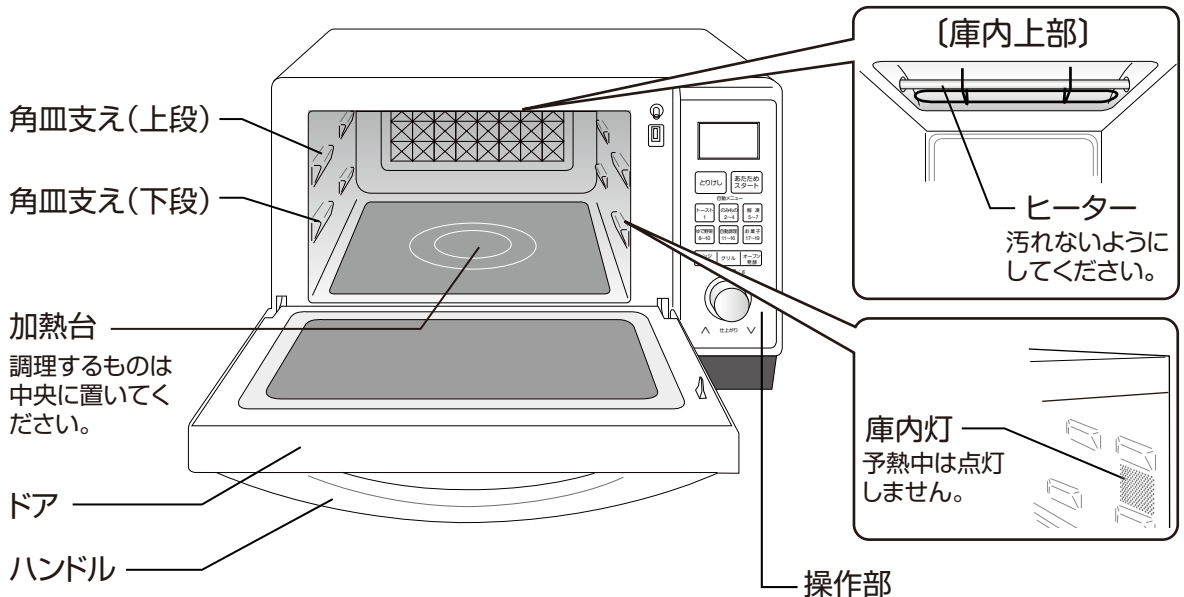
ガス管、水道管、電話線や避雷針のアースには絶対に接続しないでください。

〔 注 意 〕

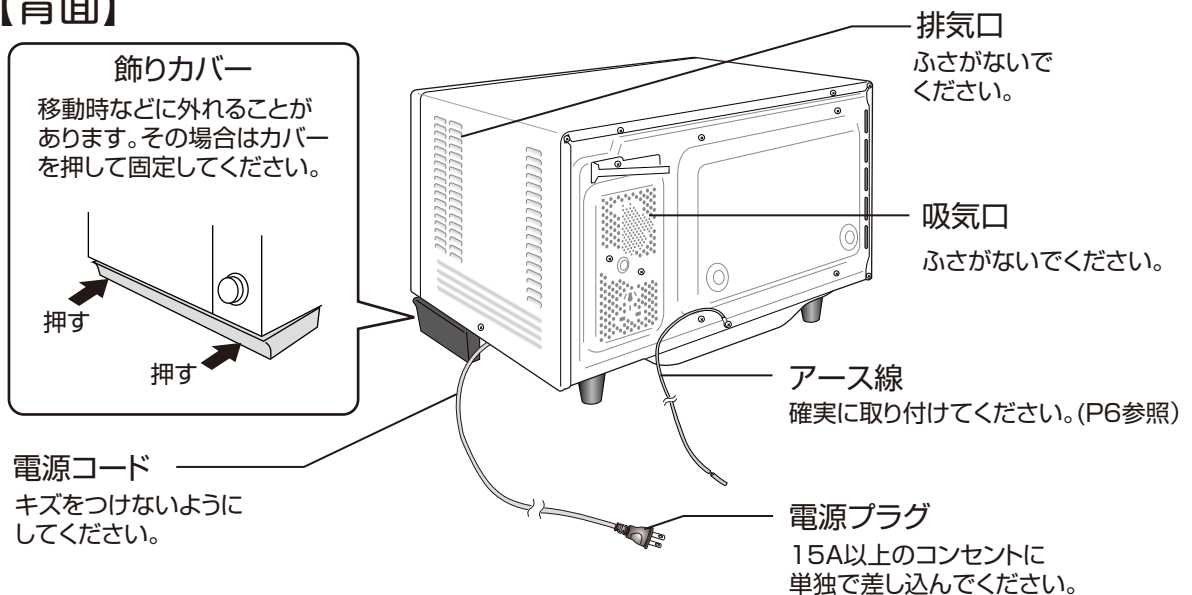
- アース線が本体アース端子に確実に取り付けられているか確認してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、再度アースの取付けを行ってください。

各部の名称

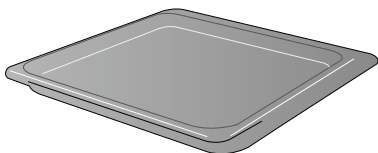
【正面】



【背面】



【付属品】



角皿

- オープンやグリル調理をするときに使用します。
- レンジには使用しないでください。火花が飛んで使用できません。

各部の名称

【操作部】

表示部

オートメニューの番号、仕上がり調節、時間、温度などを表示します。
※20分を超える表示は、「秒」表示をしません。

とりけしボタン

設定を間違えたときや、加熱を途中で止めたいときに使います。

手動調理ボタン

調理に合わせて、手動で時間や温度を設定するときに使います。

時間/温度/g合わせダイヤル

調理の時間・温度・重量や調理物の数量を回して設定します。

スタートボタン

加熱を開始するときに使います。
※加熱中にドアを開けると、一時停止します。ドアを閉めてスタートボタンを押すと加熱を再開します。

自動メニューボタン

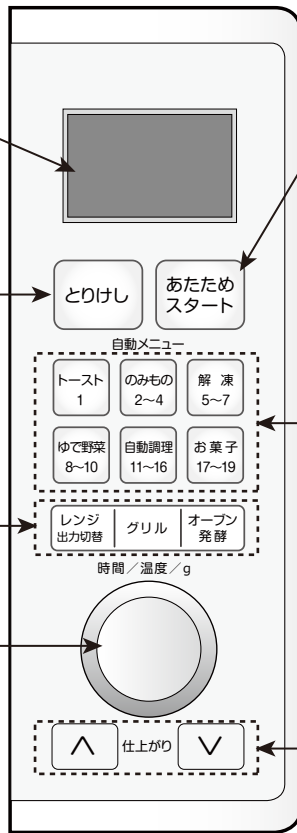
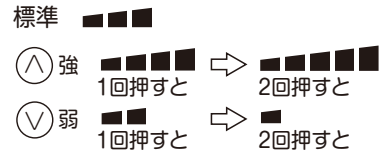
温度と時間の設定を自動で行います。

トースト [1]	→ P14
のみもの [2~4]	→ P15
解凍 [5~7]	→ P16
ゆで野菜 [8~10]	→ P17
自動調理 [11~16]	→ P18~22
お菓子 [17~19]	→ P23~26

仕上がり調節ボタン

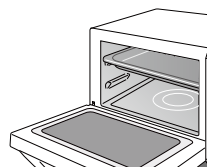
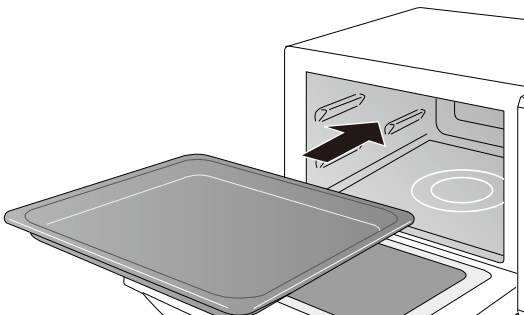
自動メニューでの仕上がりの強弱の調節に使い、5段階あります。

●仕上がりの強弱の調節

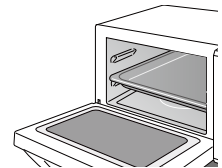


準備

- オープンやグリルを使用するときは角皿をセットしてください。調理するものによって上段、または下段にセットします。(自動メニューの場合は表示部に上段、または下段を表示します。)
- レンジを使用するときは、角皿を使用しないでください。



[上段]



[下段]



注意

ご使用時には角皿や庫内の汚れや水分は、よく拭き取ってください。発煙、発火のおそれがあります。

いろいろな機能1

【電源を入れるには】

- 電源プラグをコンセントに差し込むと「ピー」と鳴って電源が入ります。
この時、表示部は「0」を表示して、点灯します。
- オートオフ機能が働き電源が切れたときは、表示部の「0」表示が消えます。
ドアを開閉することで電源が入ります。

【オートオフ機能】

- ドアを開閉すると電源が入り、表示部に「0」と表示されます。
- ドアを閉めて、何もしないと電源が切れて、表示部の表示が消えます。
- オートオフが働き電源が切れたときは、ドアを開閉することで電源が入り、表示部に「0」と表示されます。
- 次の場合は、電源が切れません。
・ドアが開いているとき ・ 冷却ファンが回っているとき ・ 庫内が高温のとき

【仕上がり調整機能】

- 自動加熱のときに   を押すことで加熱時間を増減できます。



1回押すと、加熱時間が約5%長くなり、
もう1回押すと、加熱時間が約10%長
なります。



1回押すと、加熱時間が約5%短くなり、
もう1回押すと、加熱時間が約10%短
なります。

- お酒を加熱するときは、弱めに調整してください。


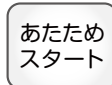
【チャイルドロック】

 と  を同時に3秒以上押してください。

ブザーが1回鳴って、表示部に  が表示します。
このときは、どのボタンを押しても操作ができなくなります。

[表示部]

解 除

解除するときは、再び  と  を3秒以上押してください。

【庫内灯について】

- 加熱中は、庫内灯が点灯しますが、予熱中は庫内灯が点灯しません。

いろいろな機能2

【とりけしボタン】

●各運転の設定中に **とりけし** を押すと、設定がリセットされ、「0」と表示されます。

●加熱中に **とりけし** を押すと加熱を中断し、表示の時間が一時停止します。

※もう1度押すと設定が解除され、「0」と表示されます。

※ **あたためスタート** を押すと再び加熱を始めます。

加熱中にドアを開けても、一時加熱を中止します。ドアを閉めて **あたためスタート** ボタンを押すと、残りの加熱を再開しますが、一時停止するときは **とりけし** ボタンを使用してください。

【取り忘れブザー】

それぞれの加熱調理が終了したとき、庫内から食品を取り出さないと約1分後にブザーが鳴ってお知らせします。(1分おきに5回)

【加熱時間表示】

あたためスタート を押して加熱が始まると、残りの加熱時間を表示します。



(例) 残り6分30秒

【冷却ファン】

加熱後は、機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

お知らせ

機器の運転時には以下のような音がしますが、異常ではありません。

加熱中の音

- 「ブーン」→冷却ファンの回る音、内部変圧器などの動作音
- 「カチッ」→出力を切換・調整するためにスイッチが動作する音

加熱後の音

- 「ブーン」→冷却ファンの回る音

設置場所によっては共鳴して大きく聞こえることもあります。以前までしなかった音が急にし出したり、異音と思われる場合は販売店、または取扱説明書記載の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

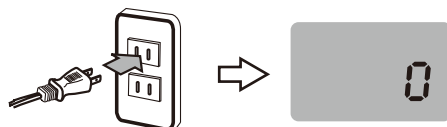
から焼きをする

- 初めて使用する前に、庫内の油分やにおいを取り除くために、行ってください。
- 煙やにおいが出ますので、窓を開けたり換気扇を回してください。
- 煙やにおいに敏感な小鳥などは、別の部屋に移してください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

必ず15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。

このときブザーが1回鳴り、「0」を表示します。



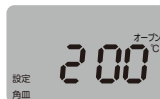
2 庫内に何もセットせずにドアを閉める

庫内に何もいないことを確認してください。

3 を2回押す



4 を回して200°Cに合わせる



5 を1回押す

6 を回して20分に合わせる



7 を押す

庫内灯が点灯して、から焼きが始まります。このとき、残り時間が表示されます。



から焼き完了

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(5分後、表示が消えます。) 約1分間、機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

- ※続けて調理を行う場合は、ドアを開けて庫内を十分冷ましてから行ってください。
- ※連続してから焼きをしないでください。
- ※庫内が熱くなっていますので、やけどなどにご注意ください。

使える容器・使えない容器

○使える容器 ×使えない容器

容器の種類		レンジ	オーブン・グリル
ガラス	■耐熱性のあるもの	○ 急に熱したり冷やさないでください。割れる恐れがあります。	○ 急に熱したり冷やさないでください。割れる恐れがあります。
	■耐熱性のないもの 強化ガラス、クリスタルガラス、カットグラスなど	×	×
プラスチック	■耐熱性のあるもの 耐熱温度140℃以上または「電子レンジ使用可」の表示があるもの	○ ●ふた部分だけが熱に弱いものがありますので、ご注意ください。 ●糖分や油分の多い料理は高温になり、変形したり、溶けたりするため、使えません。 ●時間をかけすぎると変形することがあります。	×
	■熱に弱いもの (耐熱温度140℃未満)	×	×
陶磁器	■陶器、磁器 よく確認して使ってください	○ ●急に熱したり冷やすと割れることがあります。 ●絵付け、ヒビ模様、金や銀の装飾のあるものは、器を傷めたり、火花をおこすので使えません。	×
	■漆器、竹製品、木製品、紙	×	×
金属	■アルミ、ステンレス、ホーローなどの金属	×	○
	■アルミホイル	×	○
その他	■ラップ (耐熱温度140℃以上)	○ 油分などが多い料理は、高温になり、溶けるため使えません。	×
	■特殊な形状の容器	×	×

食品をあたためる

レンジ加熱

1 食品を庫内に入れる

ドアを開けて、食品を庫内中央に置いてください。
表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

1度に加熱できる量:100~500g

※飲み物は、加熱しないでください。

飲み物は、のみもの
2~4 ボタン、または手動設定 (P29参照) であたためてください。

2 加熱する

ドアを閉めて あたため
スタート を押してください。

- 1回押すと、30秒を表示します。2回押すと、30秒追加します。押すたびに30秒追加され、最大5分まで設定できます。
- 庫内灯が点灯して、加熱が始まり、残り時間が表示されます。



※ラップする食品は、ゆとりを持たせて軽くかぶせます。

加熱

できあがり

- ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

■加熱が足りないとき

手動で、レンジ600Wに設定して様子を見ながら加熱してください。(P29参照)

■加熱ムラ

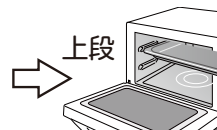
食品によっては加熱ムラができることがあります。
加熱の途中でかき混ぜたり、裏返したり、向きを変えてください。

加熱後のラップは、やけどに気をつけてすぐに外してください。
食品・容器の変形の原因になります。

1 食パンを角皿に置いて庫内に入れる


- 食パンを角皿の中央に置き、庫内の上段にセットしてください
- 表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

一度に焼ける枚数：1～4枚



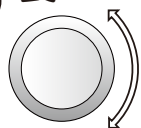
※食パンの大きさや種類によって焼け具合が違います。様子を見ながら時間を調整してください。
 ※連続して焼くときは、自動メニューを使わないでください。焼け過ぎてしまいますので、手動のグリル調理で行ってください。
 ※食パンにバターやジャムなどを塗って焼かないでください。発火の恐れがあります。

2 メニューを決める

ドアを閉めて  を押してください。



3 食パンの枚数を決める



を回してパンの枚数を合わせてください。



(例) 食パン2枚

4 食パンを焼く

 を押してください。

■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5～10%長くなる。加熱時間が約5～10%短くなる。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

5 食パンを裏返す

1. ブザーが鳴ったら、ドアを開けて手早くパンを裏返してください。
熱いためミトンなどを使用し、やけどに注意してください。

2.  を再び押してください。



できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

■加熱が足りないとき グリルで、様子を見ながら加熱してください。(P30参照)

- 焼き上がった食パンの角皿にのせた面は水蒸気で柔らかくなります。角皿に足つき網などを置き、その上に食パンを置くと柔らかくなることを防げますが、焼き過ぎになることがありますのでご注意ください。
- 調理後は庫内や角皿が熱くなっています。パンの出し入れの際には、やけどをしないように十分注意してください。

1 飲み物を庫内に入れる

- 飲み物を低めの広口容器に8分目まで入れて、庫内に入れます。

※2杯以上入れるときは、分量をそろえてください。

- 表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

●加熱前の基準温度


牛乳 → 冷蔵保存(約8℃)
酒・コーヒー → 常温保存(約20℃)

●加熱できる基準量

牛乳1杯：200mL、コーヒー1杯：150mL
酒1杯：180mL

1度に加熱できる分量：1~4杯

2 メニューを決める

ドアを閉めて  を押してください。

1回押す → 「2 牛乳」
2回押す → 「3 コーヒー」
3回押す → 「4 酒」



2 牛乳

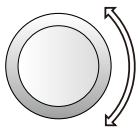


3 コーヒー



4 酒

3 分量を決める



を回して飲み物の分量を合わせてください。



(例) コーヒー2杯

4 加熱する

あたため
スタート

を押してください。

■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5~10%長くなる。加熱時間が約5~10%短くなる。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

■加熱が足りないとき

手動で、レンジ600Wに設定して様子を見ながら加熱してください。(P29参照)

- ビンに入っている飲み物は、必ず耐熱容器に移しかえてください。
- コップは、低めの広口容器をご使用ください。
- ふたやラップをしないでください。
- 加熱前と加熱後には、必ず混ぜてください。
- 加熱しすぎないでください。
- お酒を加熱するときは、弱めに調整してください。



突沸注意!


1 食品を庫内に入れる

ドアを開けて、食品を庫内中央に置いてください。
表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

1度に解凍できる重量：100~500g

※冷凍庫から出したばかりの凍った食品を解凍してください。溶けかけているときは、レンジ150Wで様子を見ながら解凍します。
※解凍する食品は、同じ種類で、大きさをそろえてください。

2 メニューを決める

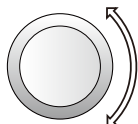
ドアを閉めて  を押してください。

1回押す→「5 冷凍あたため」
2回押す→「6 全解凍」
3回押す→「7 半解凍」



5 冷凍あたため 6 全解凍 7 半解凍

3 重量を合わせる



を回して重量を合わせてください。



(例) 200gの場合

4 加熱する

■仕上がり进行调整したいとき

あたため
スタート

を押してください。



加熱時間が約5~10%長くなる。加熱時間が約5~10%短くなる。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

■加熱が足りないとき

手動で、レンジ150Wに設定して様子を見ながら加熱してください。(P29参照)

- 発泡トレーを使わないときは、平皿にキッチンペーパーを敷いた上に食品を置きます。
- 変色や煮えを防ぐため、細い部分や薄い部分にはアルミホイルを巻いてください。

1 野菜を庫内に入れる

- 野菜をラップするか、容器に入れて庫内中央に置いてください。
- 表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

1度に加熱できる重量

8 葉菜：100~500g

9 果花菜：100~500g

10 根菜：100~1000g

※材料の大きさは、そろえておきます。

※水気を残して加熱してください。

※アクの強い野菜は、加熱の前後にアク抜きをしてください。

2 メニューを決める

ドアを閉めて  を押してください。

1回押す→「8 葉菜」

2回押す→「9 果花菜」

3回押す→「10 根菜」



8 葉菜

キャベツ、白菜
ホウレンソウ



9 果花菜

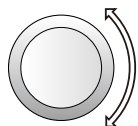
ナス、ピーマン
かぼちゃ、プロ
ッコリー



10 根菜

大根、にんじん
ごぼう、イモ類

3 重量を合わせる



を回して重量を合わせてください。



(例) 200gの場合

4 加熱する

 を押してください。

■仕上がりを調整したいとき

▲

▼

加熱時間が約5~10%長くなる。加熱時間が約5~10%短くなる。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

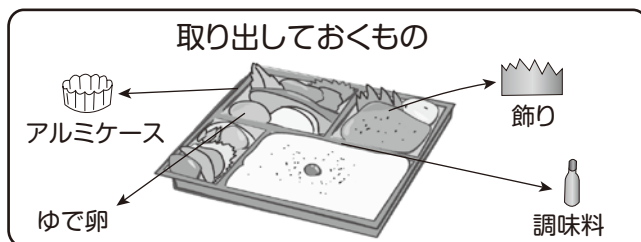
■加熱が足りないとき

手動で、レンジ600Wに設定して様子を見ながら加熱してください。(P29参照)

- 加熱後、庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らすと、ムラなく仕上がります。
- 加熱しすぎたり、少量を加熱すると発煙・発火の原因になります。

1 お弁当を庫内に入れる

ドアを開けて、食品を庫内中央に置いてください。
表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



※包装しているラップやふたは、変形したり溶けるものがあるため、必ず外してください。
※次のものは、破裂や発火の恐れがありますので、必ず取り出してください。

・調味料が入った容器や袋 ・ゆで卵 ・アルミケース ・アルミホイル ・飾り

2 メニューを決める

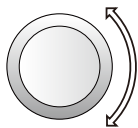
ドアを閉めて



を1回押してください。



3 重さを決める



を回して弁当の重量を合わせてください。

※300/400/500gの設定ができます。



(例) 300gのとき

4 加熱する

■仕上がりを調整したいとき

あたため
スタート

を押してください。

∧

∨

加熱時間が約5~10%長くなる。 加熱時間が約5~10%短くなる。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

■加熱が足りないとき

手動で、レンジ600Wに設定して様子を見ながら加熱してください。(P29参照)

●材料 (4個分)

ひき肉 (牛280g・豚肉120g)、たまねぎ1個 (200g)、
バター大さじ1、サラダ油適量、パン粉25g、牛乳大さじ4、
塩、ナツメグ、こしょう 各少々



●作りかた (角皿を使用し上段に入れます。)

①たまねぎをみじん切りにし、バターで薄茶色になるまでしっかりいため、冷ましてください。
※いためたたまねぎは冷めてから、ひき肉と混ぜます。

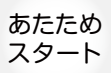
②パン粉は牛乳でふやかしてください。

③ボールにひき肉を入れ、塩、こしょう、ナツメグを加え、ねばりが出るまでよく混ぜ合わせてください。

④次にいためたたまねぎとパン粉を加えて混ぜて、4等分にしてください。



を2回押してから



を押して予熱します。



(予熱点減)

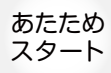
予熱

⑤予熱の間に、成形します。

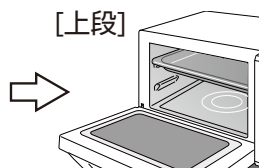
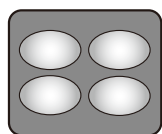
手にサラダ油をぬり、両手でキャッチボールするように生地をたたいて空気を抜きます。
中央はくぼませず、厚さ2cm程度の小判形にまとめて角皿に並べてください。

※予熱が終了するとブザーが鳴ってお知らせします。

ハンバーグを置いた**角皿を上段**に入れて



を押してください。



■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5~10%長くなる。加熱時間が約5~10%短くなる。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

手動調理で加熱するときの設定目安：オープン200℃ (予熱) →約15分

●材料 (2人分)

じゃがいも2個 (300g)、牛肉または豚肉薄切り150g、
玉ねぎ (薄切り) 120g、さやえんどう (ゆでたもの) 適宜
A (水200ml、砂糖大さじ2、酒大さじ1、みりん大さじ1、しょうゆ大さじ3)



●作りかた

- ①じゃがいもは皮をむいて6~8等分にし、牛肉は3~4cm 幅に切ります。
- ②中火で熱したフライパンにサラダ油 (大さじ1) をひき、玉ねぎと①を炒めます。
- ③深めの耐熱容器に②とAを入れ、オーブンシートなどで、落しぶたをします。
さらにラップをして庫内中央に置いてください。

自動調理
11~16

を**3回**押してから、

あたため
スタート

を押して加熱してください。



■仕上がりを調整したいとき

∧

∨

加熱時間が約5~10%長くなる。 加熱時間が約5~10%短くなる。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

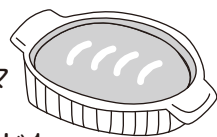
できあがり

- ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)
- 加熱後、さやえんどうを加えて、出来上がりです。

手動調理で加熱するときの設定目安：レンジ600W約12分、レンジ300W約30分

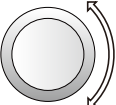
●材料(マカロニグラタン2人分)

ホワイトソース：薄力粉15g、バター15g、牛乳1カップ、塩少々、こしょう少々
 マカロニ40g(鍋でゆでておく)、マッシュルーム25g、チーズ40g
 A(鶏むね肉(一口大)50g、むきえび50g、玉ねぎ(薄切り)50g、バター大さじ1、
 塩・こしょう各少々、白ワイン大さじ1)

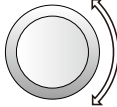


●作りかた(角皿を使用し下段に入れます。)

①耐熱容器に薄力粉とバターを入れ、庫内中央に置きます。

レンジ出力切替を1回押し  を回して「1分」に合わせ あたためスタートを押してください。

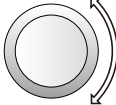
加熱後よく混ぜ合わせて、牛乳を一度に加えさらに混ぜ合わせてください。

再び庫内に置き レンジ出力切替を1回押し  を回して「4分30秒」に合わせ あたためスタート

を押して沸騰するまで加熱し、途中2~3度混ぜ合わせてください。

②加熱後、塩とこしょうを加えて、味を整えます。

③耐熱容器にAを入れ、ラップをして庫内中央に置きます。

レンジ出力切替を1回押し  を回して「4分」に合わせ あたためスタートを押して加熱後混ぜ合わ

せます。次にマッシュルームを加え

レンジ出力切替を1回押し  を回して「1分」に合わせ あたためスタートを押して加熱してください。

④③にホワイトソースとゆでたマカロニを入れ、混ぜ合わせます。

⑤薄くバターをぬったグラタン皿に④を入れ、残りのホワイトソースをかけ、チーズをのせてから

角皿に並べ下段に入れ 自動調理 11~16 を4回押しして あたためスタートを押してください。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
 このとき表示部に残り時間が表示されます。



■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5~10%長くなる。 加熱時間が約5~10%短くなる。

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

手動調理で加熱するときの設定目安：オーブン200℃(予熱)→約26分

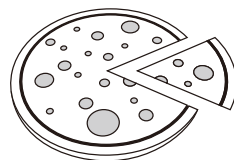
自動調理
11~16

15 冷凍ピザをあたためる

自動メニュー

●材料

冷凍ピザ直径約22cm×1枚(約250g)



●作りかた (角皿を使用し下段に入れます。)

①包装しているラップをはずし、角皿にのせ、**下段**に入れます。

② **自動調理 11~16** を**5回**押して **あたため スタート** を押してください。



庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5~10%長くなる。

加熱時間が約5~10%短くなる。

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

手動調理で加熱するときの設定目安：オープン200℃(予熱なし)→約22分

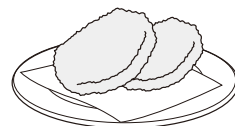
自動調理
11~16

16 フライをあたためる

自動メニュー

●材料

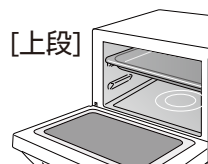
冷蔵フライ(約200g)



●作りかた (角皿を使用し上段に入れます。)

①角皿に冷蔵フライを並べて、**上段**に入れます。

② **自動調理 11~16** を**6回**押して **あたため スタート** を押してください。



③加熱中ブザーが2回鳴ったら、すぐにドアを開け、フライをすばや裏返します。

④ **あたため スタート** を押してさらに焼いてください。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5~10%長くなる。

加熱時間が約5~10%短くなる。

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

手動調理で加熱するときの設定目安：グリル約5分→裏返して約3分

●材料 (25個分)

薄力粉160g、バター70g、砂糖55g、溶き卵2/3 個、バニラエッセンス:少々



●作りかた (角皿を使用して下段に入れます。)

- ①ボウルに柔らかくしたバターと砂糖を入れ、泡立て器で白っぽくなるまでよく混ぜてください。
- ②溶き卵を少しずつ加えてさらに混ぜ、バニラエッセンスを加えます。
- ③②に薄力粉をふるって加え、木べらで混ぜ合わせて、ひとまとめにします。
- ④ポリ袋に入れ麺棒で5mmの厚さに伸ばして、冷蔵庫に30分以上ねかせてください。

- ⑤ **お菓子 17~19** を1回押して **あたため スタート** を押して予熱させます。



- ⑥予熱の間に、生地を打ち粉をした台に取り出し好みの型で抜き、バターを薄く塗った角皿に並べてください。

※予熱が終了するとブザーが鳴ってお知らせします。

- ⑦ドアを開き角皿を**下段**に入れ **あたため スタート** を押します。



庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。



■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5~10%長くなる。 加熱時間が約5~10%短くなる。

できあがり

- ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

手動調理で加熱するときの設定目安：オープン170℃ (予熱) →約15分

18 スポンジケーキを焼く

●材料 (18cmケーキ型1個分)

薄力粉90g、卵3個、砂糖90g、牛乳大さじ1、バター15g、
 バニラエッセンス少々
 <ホイップクリーム>: 生クリーム300g、砂糖55g、ブランデー大さじ1
 フルーツ: 適量

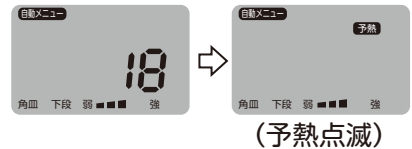


●作りかた (角皿を使用して下段に入れます。)

- ①卵を卵黄と卵白にわけ、卵白はボウルに入れ、泡立て器で角が立つようになるまでよく泡立て、半量の砂糖を2~3回に分けて加え、さらによく泡立ってます。
- ②卵黄の方に残りの砂糖を入れ白っぽくなるまで泡立ってます。
- ③①に②を加え、クリーム状になるまで泡立て、バニラエッセンスを加えてください。
- ④耐熱容器にバターと牛乳を入れ、庫内中央に置いてください。

レンジ出力切替を1回押して  を回して「40秒」に合し あたためスタートを押してバターを溶かします。

⑤ お菓子 17~19 を2回押して あたためスタートを押して予熱させます。

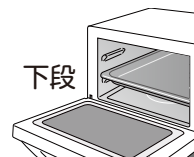


予熱

- ⑥予熱の間に用意します。
薄力粉をふるいながら加えて木べらで切るようにしながら手早く混ぜ合わせて、④があたたかいうちに加えて手早く混ぜ合わせてください。
- ⑦ケーキ型に⑥を高い位置からゆっくり流し入れ、とんとんとたたいて空気を抜き、角皿にのせます。

※予熱が終了するとブザーが鳴ってお知らせします。

⑧ドアを開いて角皿を下段に入れ  を押します。



庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5~10%長くなる。加熱時間が約5~10%短くなる。

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

- ⑨焼き上がったら、焼き落ちを防ぐため、すぐに型ごと20cm-30cmの高さから1回落とします。
- ⑩ボウルに生クリーム・砂糖・ブランデーを入れ、底を氷水に当ててクリーム状に泡立ってます。
- ⑪スポンジケーキにホイップクリームやフルーツなど表面で飾って出来上がりです。

手動調理で加熱するときの設定目安：オープン160℃(予熱)→約40分

●材料 (9個分)

薄力粉60g、バター45g、水40cc、牛乳40cc、卵2個



●作りかた (角皿を使用して下段に入れます。)

①薄力粉はふるってください。

大きめの耐熱容器に水・牛乳・バターを入れ、さらに薄力粉(小さじ1)を入れ、ラップなしで庫内中央に置きます。

 レンジ出力切替 を1回押して  を回して「2分30秒~3分30秒」に合わせ沸騰するまで加熱します。

②容器を取り出し、残りの薄力粉を一度にすばやく入れて、よく混ぜ合わせ、ラップなしで庫内中央に置きます。

 レンジ出力切替 を1回押して  を回して「1分~1分30秒」に合し加熱します。

途中均一に仕上がるために2~3度混ぜ合わせ、加熱後も手早く混ぜ合わせてください。

③割りほぐした卵を少しずつ加えます。木べらですくって、ゆっくりと落ちるくらいまで、様子を見ながら加えてください。(卵が残ることもあります。)

④  を3回押して  を押し予熱させます。



(予熱点滅)

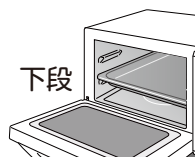
予熱

⑤予熱の間に角皿にバター(分量外)を薄くぬってください。

⑥③の生地を絞り出し袋に入れて、角皿に直径約5cmの大きさに9個、隙間をあけて絞り出し、フォークを水でぬらして上を軽く抑えてください。

※予熱が終了するとブザーが鳴ってお知らせします。

⑦ドアを開いて角皿を下段に入れ  を押します。



庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

加熱

■仕上がりを調整したいとき



加熱時間が約5~10%長くなる。加熱時間が約5~10%短くなる。

できあがり

●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

⑧焼き上がったら、すぐに角皿から外して、あみなどにのせて冷ます。

⑨冷めたら、半分に切ってカスタードクリームを詰めてください。

手動調理で加熱するときの設定目安：オーブン180℃(予熱)→約30分

[カスタードクリーム] シュー皮ができる前に作って冷やしておきます。

●材料 (約600mL)

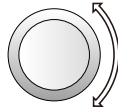
牛乳450cc、薄力粉大さじ2、砂糖75g、コーンスターチ大さじ1.5、卵黄4個分、
バター大さじ2、バニラエッセンス少々、ラム酒小さじ1

●作りかた

①耐熱ボールに牛乳を入れ、庫内の中央に置きます。

レンジ
出力切替

を1回押して



を回して「3分」に合し

あたため
スタート

を押して加熱します。

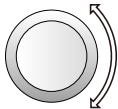
②薄力粉・砂糖・コーンスターチをふるっておいてください。

③泡だて器でよく混ぜながら②を少しずつ加えてください。(混ぜながらでないと、コーンスターチが塊になってしまうので注意してください)

④卵黄を少しずつ加え、よく混ぜ、再び庫内の中央に置きます。

レンジ
出力切替

を1回押して



を回して「5分」に合し

あたため
スタート

を押して加熱します。

途中で3回くらい取り出してよく混ぜてください。

(加熱中にぶくぶく沸騰したように温まるのが目安です。)

⑤④にバターとバニラエッセンスを混ぜてください。

⑥あら熱が取れたら、ラム酒を加えて出来上がりです。

レンジを上手に使うポイント

上手に加熱するために

- 容器を必ず確認する (P12参照)
耐熱性のない容器やアルミホイルなどは、あたためないでください。
- 卵はそのまま加熱しない
・破裂して危険です。卵を加熱するときは、割ってから、よくほぐしてください。
・ゆで卵もあたためないでください。
- お弁当は1個ずつあたためる
・上下に積み重ねたりすると、うまくあたたまりません。
・調味料の容器、アルミケース、飾りなどを取り除いてからあたためてください。
- ゆでる(煮る)調理は、食材の厚みや大きさをそろえる
加熱ムラを少なくすることができます。
- 加熱の途中でかき混ぜたり、裏返す
加熱ムラを少なくすることができます。

上手に解凍するために

- 手動で解凍するときは必ず150Wにする
- ラップ、ふた、飾りは取り除く
・発泡トレーのまま解凍できます。
・ラップなどに包んであった食品は、平皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。
 - 冷凍した食品を常温で放置しない
・冷凍庫から出したばかりの凍った食品を解凍してください。
・溶けかけているときは、レンジ200Wで様子を見ながら解凍します。
 - アルミホイルを活用する
形や厚みが均一でない食品は、薄いところや細いところの外周をアルミホイルで包むことで、解凍ムラを防ぐことができます。
※アルミホイルが庫内側面やドアに当たらないようにしてください。
※解凍以外には、アルミホイルを使わないでください。
 - 加熱調理後に解凍するとき
加熱調理後に、解凍するときはドアを開けて庫内を冷ましてから解凍してください。

葉菜・果花菜をゆでるとき

洗った後の水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿に乗せます。

- 葉菜類
・葉と茎を交互に重ねます。
・太い茎には、十文字に切り込みを入れる。
・アクのある野菜(ほうれん草、春菊、小松菜など)は加熱後、すぐに流水にさらして、アクを抜き、その後冷水に取って、色止めします。
・量が多いとき(300g以上)は、同量ずつ半分に分けてください。
- 果花菜類
・大きさを、そろえて切ります。
・アクのある野菜(なす、ブロッコリーなど)は、加熱前に食塩水につけてアクを抜きます。
・色の濃い野菜(なす、ブロッコリー、さやいんげん、グリーンアスパラなど)は、加熱後すぐに流水にさらし、その後冷水に取って色止めをします。

根菜をゆでるとき

ラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿に乗せます。

- 丸のままゆでるとき
・洗ってから、皮付きのままラップに包みます。
・2個以上のときは、出来るだけ大きさをそろえて重ならないように並べてください。
・加熱の途中で、ドアを開けて上下を変えます。
・ジャガイモやさつまいも、さといもなどは、加熱後庫内から取り出して、ラップをしたまま5分程度蒸らし、熱いうちに皮をむきます。
- 切ってゆでるとき
皮をむき、大きさをそろえて切ってください。

レンジを上手に使うポイント

ラップのご使用について

【ラップをするもの】

- 煮物、蒸し物、汁物、調理済み食品全般などしっかりと仕上げたいもの。
(冷凍食品は、それぞれ記載のある加熱方法に従ってください。)
- 野菜などを下ごしらえしたり、温野菜にするとき。
- ラップは、容器のふちにぴったりと、食品部分にはゆとりを持たせてかぶせてください。
- カレーやシチューなどにラップが直接触れないようにかぶせてください。
(油が多いためラップが溶ける恐れがあります。)

【ラップをしないもの】

- 揚げ物、焼き物、炒め物など水分を飛ばしぎみにしたいとき。

【注意:加熱しすぎると発煙・発火します】

- あんまん・まんじゅう →「あん」は高温になると発煙します。
- 根菜類(ごぼう、れんこんなど) →水分が少なくなり発煙・発火することがあります。
- いかなどはじけやすいもの →はじけてやけどをすることがあります。
- 乾燥したものや水分の少ないもの→発煙・発火することがあります。

飲み物などの加熱時に、やけどを防ぐために

- 加熱しすぎない
飲み物(お茶、コーヒー、牛乳、酒など)やシチューなど油脂の多い食品、液体は加熱後、取り出した後に、突然沸騰して飛び散って、やけどのおそれがあります。
加熱するときは、設定時間を控えてください。
- 広口で背の低い容器に8分目まで入れる
- 加熱前や加熱後には、必ずスプーンでかき混ぜる




突沸注意!

手動調理 —レンジを使う—

1 食品を庫内に入れる

表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

2 出力を決める

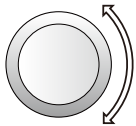
ドアを閉めて  を押ししてください。

押すごとに、600W→500W→300W→150Wと切り換えます。



600Wの場合

3 加熱時間を決める



を回して加熱時間を設定してください。

※20分以上に設定したときは、秒の設定はできません。

※時間を設定した後で、出力を変えたい場合は、 を押し、手順2から、やり直してください。

■設定できる時間

600W	→	30分まで
500W	→	30分まで
300W	→	60分まで
150W	→	60分まで

4 加熱する

 を押しください。

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。



できあがり ●ブザーが鳴って庫内灯が消えます。(約5分後、表示が消えます。)

- 食品の量が2倍になると、加熱時間は約2倍弱になります。
- 加熱中は、途中で様子を見ながら調理してください。
※角皿は使用しないでください。

手動調理 —グリルを使う—

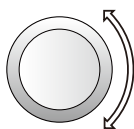
表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

1 角皿に食品を入れて庫内にセットする

2  を押す



3 加熱時間を設定する



を回して加熱時間を設定してください。

※30分までの設定ができます。



(例) 30分設定時

4  を押して加熱する

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。



できあがり

- ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
- 加熱後、冷却ファンが回ります。

●続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
※加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、やけどをしないよう十分注意してください。

手動調理 **—オーブを使う(予熱あり)—**

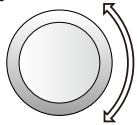
表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

1 **オープン発酵** を押す

このとき、角皿と食品は入れません。



2 加熱温度を設定する

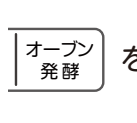


を回して温度を設定します。
10℃単位で100℃～250℃の範囲で設定ができます。



(例) 200℃設定時

3 加熱時間(調理時間)を設定する



オープン発酵 を押して、を回して加熱時間を設定してください。
※90分までの設定ができます。



(例) 35分設定時

4 **あたためスタート** を押して予熱する

このとき、庫内灯は点灯しません。



予熱完了

ブザーで予熱完了をお知らせします。
※約5分間予熱を保持します。

5 角皿に食品を入れて庫内にセットする

6 **あたためスタート** を押して加熱する

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。



できあがり

- ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
- 加熱後、冷却ファンが回ります。

●続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
※加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、やけどをしないよう十分注意してください。

手動調理 **—オーブを使う(予熱なし・発酵)—**

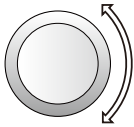
表示部に何も表示がないときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。

1 角皿に食品を入れて庫内にセットする

2  を2回押す



3 加熱温度を設定する



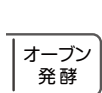
を回して温度を設定します。



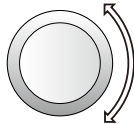
(例) 200°C設定時

※35・40°C(発酵)、または10°C単位で100°C～250°Cの範囲で設定ができます。
※35・40°C(発酵)は、予熱ができません。

4 加熱時間(調理時間)を設定する



を押して、



を回して加熱時間を設定してください。

※90分までの設定ができます。



(例) 30分設定時

5  を押して加熱する

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。



できあがり

- ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
- 加熱後、冷却ファンが回ります。

●続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
※加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、やけどをしないよう十分注意してください。

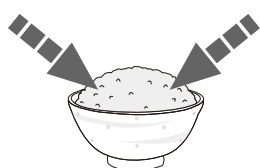
加熱のしくみ

レンジ加熱

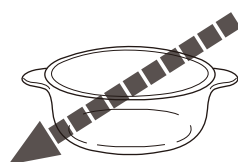
電波（高周波）が食品に当たると食品の水分が摩擦熱を起こし、加熱します。

- ※食品の種類・加熱前の温度によって加熱時間は、異なります。
- ※食品の分量が2倍になると加熱時間は2倍弱になります。
- ※水分の少ない食品は、過熱して発火することがありますので、注意してください。
- ※市販の食品に添付されている脱酸素剤を加熱しないでください。異常高温になり危険です。
- ※庫内に何も入れずに加熱しないでください。異常高温になり危険です。

■電波の特性



水分のある食品は
吸収されます。



耐熱性のあるガラス容器
陶器などは透過します。

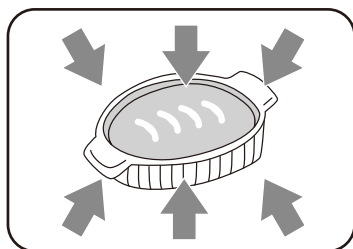


金属性の器などは
反射します。

ヒーター加熱

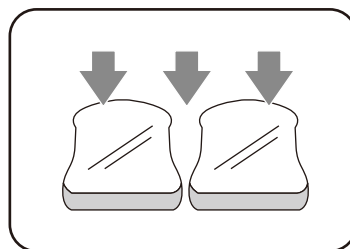
■オープン加熱

上下のヒーターの加熱を温度センサーで調整し、設定した庫内温度で焼き上げます。



■グリル加熱

上のヒーターで加熱し、食品の表面に焼き色を付けたり、様子をみながら追加焼きをするときに使います。



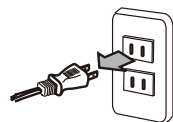
お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く



警告

お手入れは、本体が充分冷えたことを確認してから行ってください。



2 お手入れをする

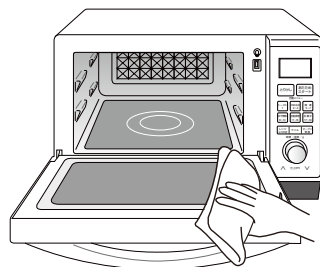
本体・ドア

- 本体外側やドアは台所用中性洗剤を含ませたふきなどで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。
- 吸気口についたほこりなどは掃除機や乾いた布などで定期的に取り除いてください。



庫内・ドアの内側

- 調理中にこぼれた汁や飛び散った油・食品カスなどは、早めに拭き取ってください。汚れたまま使用すると、こげ付いて取れにくくなったり、発煙・発火する原因になります。
- 汚れは台所用中性洗剤を含ませたふきなどで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。



加熱台・角皿

- 加熱台はご使用ごとに、ふきなどで汚れをふき取ってください。
- 角皿はご使用ごとにスポンジなどで洗い、水分を拭き取り、よく乾かしてください。



電源プラグ

- 電源プラグの刃、刃の取付面やコンセントにほこりが付いているときは乾いた布で拭き取ってください。



注意

お手入れにはシンナー・クレンザー・金属たわしなどは使わないでください。
変色・変質・劣化などの原因になります。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき

ご確認ください

動かない

- 電源プラグが抜けていませんか。
→しっかりと電源プラグを差し込んでください。
- 配電盤のブレーカーが切れていませんか。
→お使いの電気製品を確認して容量内でお使いください。
- 停電していませんか。
- 調理中にドアを開閉しませんでしたか。
→スタートボタンを押すか、または再度設定してください。

何も表示していない

- ドアを閉めてしばらくすると自動的に電源が切れます。(オートオフ機能)
→ドアを開閉して、「0」表示がでたら操作してください。

操作ボタンを押しても
反応しない

- 表示部が「0」を表示していますか。
→ドアを開閉して、「0」表示がでたら操作してください。

スタートボタンを押し
ても加熱しない

- ドアが完全に閉まっていますか。
→ドアを確実に閉めてください。
- メニューは選びましたか。
- 出力、時間などの設定は行いましたか。

すぐに加熱が止まる

- 庫内が熱くなっていますか。
→庫内が熱いときは、温度センサーが働き加熱を停止することがあります。ドアを開けて庫内を冷ましてから加熱してください。

火花がでる(レンジ調理)

- 金属容器やアルミホイル、金粉や銀粉などの飾りのある容器などを使っていますか。
→使用できる容器に変えてください。(P12参照)
- 庫内が空だったり、食品の量が少なすぎる状態で加熱していませんか。
→適量の食品を入れてください。

煙がでたり、
いやなにおいがする

- ご購入後から焼をしましたか。(P11参照)
- 庫内やドアに、調理物のカスや油などが付着していませんか。
→拭き取ってください。

加熱中にヒーターが
ついたり消えたりする

- メニューによってヒーターの制御をしています。故障ではありません。

加熱中に音がる

- レンジの出力を切り換えたり、スイッチの切換え音です。故障ではありません。
- 加熱中の「ボコン」と鳴ったり、きしみ音は、高温のために庫内壁面が膨張する音です。故障ではありません。

加熱後に音がる

- 部品を冷却するファンの音です。故障ではありません。

ドアがくもり水滴が落ちる

- 食品の水分が水蒸気となったものです。拭き取ってください。

故障かな?と思ったら

こんな表示がでたら

E 04 ~ E 06

- 機器が故障している場合があります。
→ご使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

※それぞれの確認や処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

点検 電源コード、電源プラグはときどき点検を行ってください。

※電源コードやプラグに異常があるときは修理をご依頼ください。

- 電源プラグやコードが手で持てないくらい熱くなり、異常と感じたときは、次のことをご確認ください。
 - 1.延長コードを使用していませんか。
→コードは長くするほど抵抗が大きくなり発熱します。
 - 2.同じコンセントで他の電気製品を使っていませんか。
→コンセントの容量いっぱいで使用すると発熱する原因になります。
 - 3.電源コードに傷があったり、異常に柔らかい部分がありませんか。
→電源プラグ付近のコードは、抜き差しの回数が多かったり電源プラグをもたずに抜いたりして負荷をかけると内部で断線することがあり発熱します。
 - 4.電源プラグが変形したり、変色、汚れが付着していませんか。
→コンセントとの接触不良で発熱する原因になります。
 - 5.別のコンセントでも熱くなりますか。
→別のコンセントで症状がでない場合は、使っていたコンセントを確認してください。
差込がゆるくなっていると熱くなる原因になります。
- 運転中、電源コードを動かすと電源が切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

定格電圧	AC100V	
定格周波数	50Hz/60Hz共用	
外形寸法	幅513mm×奥行340mm×高さ332mm	
質量	約17kg	
庫内有効寸法	幅328mm×奥行355mm×高さ約206mm	
コード長	約1.5m	
電子レンジ	消費電力	950/1300W(50/60Hz)
	高周波出力	600W/500W/300W/150W相当
	発振周波数	2450MHz
オーブン	消費電力	1330W(50/60Hz)
	ヒーター出力	1300W
	温度調節範囲	35・40℃(発酵)、100～250℃
グリル	消費電力	1330W(50/60Hz)
	ヒーター出力	1300W
区分名	B	
電子レンジ機能の年間消費電力量	59.1kWh /年(50Hz) 58.7kWh/年(60Hz)	
オーブン機能の年間消費電力量	14kWh /年(50Hz) 14.1kWh/年(60Hz)	
年間待機時消費電力量	0.0kWh/年(50/60Hz)	
年間消費電力量	73.1kWh /年(50Hz) 72.8kWh/年(60Hz)	

- 年間消費電力量は、省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による数値です。
- 区分名は、省エネ法に基づき、機能、加熱方法、庫内容量の違いで分けています。
- 実際にお使いになるときの年間消費電力は、周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量などによって変化しますので、目安としてご覧ください。
- 長期間ご使用になられないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で「お買上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日より1年間です。(マグネトロンのみ2年間です。)
保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 保証期間後の修理
お買上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は、絶対にしないでください。

感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

●Eメールでのご相談も受け付けております。
その際は商品名・形名・ご相談内容・お名前
お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は
info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。